

商工振興ビジョンロードマップに基づく事業実施計画の
平成 28 年度事業一覧 (案)

No	事業名
1. 中小企業の経営基盤強化	
1	滋賀県緊急経済対策資金の信用保証料助成制度の拡大延長
2	りっとう創業塾の実施
3	創業支援希望者のネットワーク構築
4	小規模事業者持続化補助金の市単独助成制度の創設
5	よろず支援拠点との連携によるサポート体制の確立
6	よろず支援拠点による定期的な相談窓口の開設
7	(仮称) 栗東市創業支援事業計画推進会議の立ち上げ
8	空きテナント活用によるチャレンジショップ事業
9	小規模企業者支援のための市管理職員による「(仮称) 出向くコンシェルジュ制度」の創設
2. 消費者ニーズ創出	
10	消費者ニーズ調査の実施
11	市民・消費者・事業者ワークショップ(懇談会)の開催
12	くりちゃんバスの利用状況の調査
13	域内調達拡大運動
3. ブランド創出	
14	栗東ブランドによる認証制度の設計
15	認証ロゴマークの作成
16	シティセールス戦略等による積極的な情報発信
4. 栗東駅前・手原駅前の賑わい創出	
17	栗東駅周辺まちづくり事業
18	栗東観光案内所の運営体制の拡充
19	空きテナントの現況調査
20	既存のまつり等のイベントの検証と見直し
5. 観光事業の推進	
21	地域資源活用ビジョンの策定と効果的な運用
22	あるもの探しの実施
23	シティセールスに向けた戦略策定と運用(マスコットキャラクター活用による本市PR事業)
24	湖南4市の広域観光の効率化に向けた連携拡充
25	観光客向けのマップやパンフレットの拡充
26	グリーンツーリズムの実施に向けた実態調査

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	滋賀県緊急経済対策資金の信用保証料助成制度の拡大延長
-------	----------------------------

II. 事業概要

目的	対 象	中小企業者	対象数	
	事業手法	対象の県融資制度及び市小規模企業者小口簡易資金制度の利用者に対する信用保証料の一部を助成		
	目指す姿	中小企業者の経営基盤の強化を図り、地域経済の発展に資することを目的とする。		
	根 拠	(仮称) 栗東市中小企業信用保証料助成金交付要綱の創設		
補助・単独の別	国費・県費・ <u>単独費</u> ・その他()			
事業費(千円)	【事業コード】 0707 中小企業振興事業 【予算額】 13,133 千円(補助金)、60 千円(印刷製本費)			
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助・ <u>助成</u> ・その他()	

III. 具体的方策

手 法	<p>平成25～27年度の3ヵ年実施した「栗東市中小企業緊急支援信用保証料助成金交付事業」の拡大延長するため、新たな助成制度を制定するもの。</p> <p>【助成対象】</p> <p>滋賀県制度融資：セーフティネット（新規・借換） 緊急経済対策資金（新規・借換）、開業資金 栗東市小規模企業者小口簡易資金貸付制度</p> <p>【制度概要】</p> <p>別紙（参考資料 1（仮称）栗東市中小企業信用保証料助成金交付要綱の創設）参照</p> <p>【周知方法】</p> <p>市広報紙、HP、ミラサポに掲載、チラシを作成・配布 各経済団体、市内金融機関等に周知の協力を要請</p>
スケジュール	<p>○平成 28 年 7 月 1 日 施行予定 (平成 28 年 4 月 1 日以降の対象資金の利用者は遡って適用)</p> <p>○平成 32 年 3 月 31 日 制度終了</p>

IV. 課題

課 題	<p>○制度設計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者の経営基盤の強化とその振興発展に対する助成金を広く、公平に助成するため、制度設計をする必要がある。 ・事業者、金融機関、経済団体の立場に立ち、利用しやすく、また事業者の資金ニーズに即した運用方法を設計する。
-----	---

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	りっとう創業塾の実施
-------	------------

II. 事業概要

目的	対象	創業（第二創業）希望者	対象数	
	事業手法	栗東市商工会と連携し、創業塾を開催		
	目指す姿	平成 27 年 5 月、産業競争力強化法に基づく国の第 5 次認定を受けた創業支援事業計画の実現に向け、りっとう創業塾を継続して実施するもの。 創業希望者の創業を後押しすることで地域の創業を促進させる		
	根拠	産業競争力強化法第 113 条第 1 項		
補助・単独の別	国費・県費・ 単独費 ・ その他 （商工会へ国費の直接補助）			
事業費(千円)	【事業コード】 0706 商工団体等育成事業 【予算額】 1,500 千円（補助費）			
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 30 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・ 補助 ・助成・その他()	

III. 具体的方策

手法	<ul style="list-style-type: none"> ・創業に興味のある方、独立開業を考えている方のため、創業にあたり必要となる経営、財務、人材育成、販路開拓等の講座を受講することができる。 ・なお、一定の要件を満たした受講生は、特定創業支援事業を受けた者として、登録免許税の軽減や信用保証枠の拡充などの特典を得ることができる。 ・前年度実績を検証するなかで、実施主体の栗東市商工会と連携し、周知等の準備を進める。
スケジュール	<p>■平成 28 年度予定</p> <p>6 月～9 月 実施内容の打ち合わせおよび周知（広報、HP 等）</p> <p>10 月～11 月 創業塾の実施</p>

IV. 課題

課題	<p>■依存財源の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国補助金の活用に向け調整中。 ・様々な依存財源の可能性を検討するなかで事業実施することが必要
----	--

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	創業支援希望者のネットワーク構築
-------	------------------

II. 事業概要

目的	対象	創業希望者	対象数	
	事業手法	メーリングリストなどのプラットフォームを構築		
	目指す姿	平成 27 年度実施した「りっとう創業塾」の受講生を始めとして、創業支援事業計画の実施期間を通じて、創業希望者に対する双方向の情報共有ネットワークを構築するためメーリングリストなどのプラットフォームを構築する。		
	根拠			
補助・単独の別		国費・県費・ <u>単独費</u> ・その他 ()		
事業費(千円)		【事業コード】 【予算額】 ※※※		
事業期間		平成 28 年 4 月～ 平成 30 年 3 月	事業実施形態	<u>直営</u> ・一部委託・全部委託・補助・助成・その他()

III. 具体的方策

手法	<ul style="list-style-type: none"> ・創業関連情報を創業希望者へタイムリーに情報提供するシステムを構築することで、開業率の増加を図るもの。 ・平成 27 年度実施および今年度実施予定の「りっとう創業塾」の受講生を始めとして、創業希望者のメーリングリストを構築 ・メーリングリストを活用することで創業関連情報を希望者にタイムリーに提供
スケジュール	<p>10月～11月 りっとう創業塾の実施 (予定)</p> <p>11月 メーリングリストの作成</p> <p>11月～ メーリングリストを活用し、情報を提供</p>

IV. 課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> ■情報収集 <ul style="list-style-type: none"> ・創業希望者に対しメーリングリストによる情報受信の希望確認を行い、個人情報 (メールアドレス) の情報収集 ■双方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・情報提供だけでなく、希望者の相談に応じるなど、双方向な情報共有を行える体制の構築
----	--

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	小規模事業者持続化補助金の市単独助成制度の創設
-------	-------------------------

II. 事業概要

目的	対象	小規模事業者	対象数	
	事業手法	市独自の補助金制度を創設		
	目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある個店づくりを通じて地域活性化を図ろうとするもの。 地道な販路開拓等の取り組みを行う小規模事業者に対して補助することで、地域活性化を図る 		
	根拠			
補助・単独の別	国費・県費・ <u>単独費</u> ・その他 ()			
事業費(千円)	【事業コード】 0707 中小企業振興事業 【予算額】 5,000 千円			
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・ <u>補助</u> ・助成・その他 ()	

III. 具体的方策

手 法	<ul style="list-style-type: none"> 国の補助事業（小規模事業者持続化補助金）の活用を促進し、個店の魅力向上に寄与する店舗改装等を推進するため、補助対象経費における事業者負担の一部を補助する制度を新設するもの。 国の補助事業（小規模事業者持続化補助金）の上乗せ補助制度を新設
スケジュール	6 月 中小企業振興会議にて案の提示 7 月 要綱の告示

IV. 課題

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ■周知 <ul style="list-style-type: none"> 雇用、買い物弱者、海外展開対策については通常の補助額の 2 倍になるが、申請件数が少ない 申請件数を増加させるような努力が必要 ■制度変更への対応 <ul style="list-style-type: none"> 国の施策の動向を注視する必要がある。
-----	--

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	よろず支援拠点との連携によるサポート体制の確立 よろず支援拠点による定期的な相談窓口の開設
-------	--

II. 事業概要

目的	対象	創業希望者・小規模事業者	対象数
	事業手法	よろず支援拠点との連携によるサポート体制の確立	
	目指す姿	中小企業者（創業希望者を含む）の解決が困難な相談に、ワンストップ窓口で支援する相談窓口を開設し、経営改善や売上げ向上を図る	
	根拠		
補助・単独の別	国費・県費・ <u>単独費</u> ・その他（ ）		
事業費(千円)	【事業コード】 0707 中小企業振興事業 【予算額】 60 千円（印刷製本費）		
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 30 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助、助成・その他（ ）

III. 具体的方策

手 法	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県産業支援プラザとの連携を深めるなかで、よろず支援拠点を積極的に活用するため、市窓口のサポート体制の拡充を図る。 ・定期的な相談窓口設置にあたり、市における受付業務や連絡調整業務を実施。 ・毎月、相談窓口を開設するもので、相談案件に応じて中小企業診断士等の講師の派遣を要請。
スケジュール	<p>■平成 27 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県産業支援プラザに定期窓口の開設に向けた相談 <p>■平成 28 年度</p> <p>4 月 市の意向として 7 月頃からの相談窓口開設を要請。 → 滋賀県産業支援プラザ内諾</p> <p>7 月 相談窓口の開設（予定） ※毎月、定期開催（第〇週 ○曜日など）</p>

IV. 課題

課 題	<p>■情報拡散</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創業希望者や小規模企業者に向け、相談希望者への情報伝達を効果的に進める方策の検討が必要。 ・チラシ印刷物（3,000枚）の配布 商工会会員事業所への配布（奇数月の月末） 窓口設置（市・商工会・滋賀県産業支援プラザなど）
-----	--

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	(仮称) 栗東市創業支援事業計画推進会議の立ち上げ
-------	---------------------------

II. 事業概要

目的	対象	創業支援事業者、金融機関	対象数	
	事業手法	栗東市創業支援事業計画推進会議の立ち上げ		
	目指す姿	創業支援事業の実施にあたり、関連する創業支援事業者や関係金融機関の情報交換を定期的に開催し、創業支援体制の充実を図る。		
	根拠			
補助・単独の別	国費・県費・ <u>単独費</u> ・その他 ()			
事業費(千円)	【事業コード】 【予算額】 ※※※			
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 30 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助・助成・その他 ()	

III. 具体的方策

手 法	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業計画に基づく創業支援事業を実施するにあたり、金融機関を含む関係機関の連携強化を図るため、定期的な(仮称)栗東市創業支援事業計画推進会議を設置する。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年度 7月～ 推進会議について金融機関や関係機関との打ち合わせ(会議設置) 創業支援事業に関して関係機関との情報交換・意見聴取を実施

IV. 課題

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ■会議運営 ・推進会議の関係機関として、創業実現に向けた目的を共有し、会議への参画に向けた意欲を高める工夫が必要 ・大学等との連携も含めて、栗東市の創業に向けた特徴付けを行うことも必要
-----	--

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	空きテナント活用によるチャレンジショップ事業
-------	------------------------

II. 事業概要

目的	対象	創業希望者	対象数	
	事業手法	商工会と連携し空きテナントを活用することでチャレンジショップ事業を実施する。		
	目指す姿	創業希望者の創業に向けた障壁を緩和することで、創業の実現を図る。		
	根拠			
補助・単独の別	国費・県費・ <u>単独費</u> ・ <u>その他</u> （商工会へ県費の直接補助）			
事業費(千円)	【事業コード】 0706 商工団体等育成事業 【予算額】 1,500 千円			
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 30 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・ <u>補助</u> ・助成・その他()	

III. 具体的方策

手 法	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援事業計画に基づく創業の実現を誘導するため、創業希望者が新規開業に向けた助言等を受けながら、空きテナントを活用したチャレンジショップ事業を社会実験として実施する。
スケジュール	<p>■平成 28 年度</p> <p>7 月 事前準備</p> <p style="padding-left: 20px;">チャレンジショップ参加者の募集開始</p> <p style="padding-left: 20px;">実施場所（ウイングプラザ）の改装（パーテーションの設置）</p> <p>8 月～来年 1 月 事業実施（6 ヶ月間）</p> <p style="padding-left: 20px;">チャレンジショップを実施</p> <p style="padding-left: 20px;">事業完了後の撤去も含む</p> <p>評価・検証したなかで、次年度の取組みを検討</p>

IV. 課題

課 題	<p>■今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジショップ実施期間終了後（2 月以降）の開催場所が未定 ・創業支援事業計画に事業の実施場所（ウイングプラザ）が記載されているため、実施場所が変更となる場合、計画変更が必要 ・空きテナント対策に向けた施策検討
-----	--

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	小規模企業者支援のための市管理職員による 「(仮称) 出向くコンシェルジュ制度」の創設
-------	--

II. 事業概要

目的	対 象	中小企業者	対象数	
	事業手法	商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進 地域に根づいた企業の育成、支援（地域内での経済循環の創造）		
	目指す姿	中小企業者の情報収集を行い、新たなビジネスマッチングや国等の施策との融合を図り、中小企業と行政施策の相乗効果を目指すもの。		
	根 拠			
補助・単独の別		国費・県費・単独費・その他（ ）		
事業費(千円)		【事業コード】 【予算額】 ※※※		
事業期間		平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助、助成・その他（ ）

III. 具体的方策

手 法	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所調査とデータベースの構築に向け、消費者調査などの市民意向の調査や、商工会が実施する経営発達支援計画に基づく経営分析、その他、日本政策金融公庫による各種調査や地域経済分析システム（RESAS）を活用するなど、小規模企業者支援に向けた各種情報のデータベース化の方策を検討したうえで、市管理職による「(仮称) 出向くコンシェルジュ制度」の創設に向け、協議・調整を図るもの。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年度 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関協議等を行い、庁内での連携事業等を整理したなかで制度設計を行う。 ■平成29年度 <ul style="list-style-type: none"> ・制度の運用開始（予定）

IV. 課題

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市商工会による経営発達支援事業等との棲み分けを行うなかで、事業の効果的な運用方策を制度設計する必要がある。
-----	--

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	消費者ニーズ調査の実施 市民・消費者・事業者ワークショップ（懇談会）の開催 くりちゃんバスの利用状況の調査
-------	---

II. 事業概要

目的	対象	市民・消費者・事業者	対象数	
	事業手法	商工振興ビジョンロードマップに沿った事業推進		
	目指す姿	消費者ニーズの把握を通じて、市内中小企業者の市民サポーターを募り、市民と事業者の共存共栄の関係を構築する。		
	根拠	商工振興ビジョンロードマップ		
補助・単独の別	国費・県費・ <u>単独費</u> ・その他（ ）			
事業費(千円)	【事業コード】 【予算額】 5,000 千円			
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助、助成・その他（ ）	

III. 具体的方策

手 法	<ul style="list-style-type: none"> コンビニやスーパーなどの小売業者へのニーズ調査や、市民の消費ニーズについての調査・検討を行い、ターゲットを明確にした商業活性化を目指すもの。 これに合わせ、買い物環境の改善に向け、くりちゃんバスが買い物バスとしてどの程度利用されているかを調査し、やがて訪れる高齢化社会における交通弱者対策としての買い物バスのあり方を検討する。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年度 調査のとりまとめ ■平成29年度 調査結果報告会として、市民・消費者・事業者ワークショップを開催 利用促進方策の検討、買い物バス社会実験

IV. 課題

課 題	
-----	--

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	域内調達拡大運動
-------	----------

II. 事業概要

目的	対 象	大企業、工場、病院等	対象数	
	事業手法	商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進 地域に根づいた企業の育成、支援（地域内での経済循環の創造）		
	目指す姿	トップセールス等による工場、物流施設、学校、病院、福祉施設等へ調達比率の引上げを要請するもの。		
	根 拠			
補助・単独の別	国費・県費・ <u>単独費</u> ・その他（ ）			
事業費(千円)	【事業コード】 0707 中小企業振興事業 【予算額】 60 千円			
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助・助成・その他（ ）	

III. 具体的方策

手 法	従来までも実施しているトップセールスを始めとして、市内の工場、物流施設、学校、病院、福祉施設等に訪問した際、地域経済の循環が、それぞれの主体においても相乗効果を生むことの共通理解を育むため、各事業所における市内での調達比率の引上げを1つの運動として展開するもの。
スケジュール	<p>■平成28年度</p> <p>上半期 各課照会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消耗品・備品等の市内及び湖南エリアでの購入実績 ・ 各種補助施策を通じた市内事業所の活用促進 <p>下半期 チラシ印刷</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ トップセールスを始めとして、市内事業所への配布・啓発を実施

IV. 課題

課 題	域内経済循環の必要性を意識共有するための運動であるため、大企業や工場、病院等に向けた効果的な意識啓発を通じて、具体的な行動の転換をもたらすための働きかけを検討する必要がある。
-----	---

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	栗東ブランドによる認証制度の設計 認証ロゴマークの作成
-------	--------------------------------

II. 事業概要

目的	対 象	栗東ブランド認証企業	対象数	未定（制度設計中）
	事業手法	商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進 地域に根づいた企業の育成、支援（地域内での経済循環の創造）		
	目指す姿	栗東ブランドによる認証制度の構築により、栗東ブランドの付加価値を高める 制度設計をおこない、ブランド力による地域経済の活性化を目指すもの。		
	根 拠			
補助・単独の別		国費・県費・単独費・その他（ ）		
事業費(千円)		【事業コード】 【予算額】 ※※※		
事業期間		平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助、助成・その他（ ）

III. 具体的方策

手 法	<ul style="list-style-type: none"> ・全庁的に制度設計される栗東ブランド認証制度に連動する形で、商工事業者向けの制度設計として、特典の充実や発信力の強化など、認証制度による付加価値を高める施策を検討していく。 ・滋賀県が実施する「ココクールマザーレイク・セレクション」との関連付けや、草津市などの先行事例を参考として検討する。 <p>※ココクールマザーレイク・セレクション 滋賀ならではの資源や素材を活かし、心の豊かさや上質な暮らしぶりといった滋賀らしい価値観を持つ商品・サービスを選定し、県内外へ発信。</p>
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年度 <ul style="list-style-type: none"> ・栗東ブランド認証制度（全庁）の制度設計 ・滋賀県や他市の事例を参考としながら、商工分野としての制度設計 ■平成29年度 <ul style="list-style-type: none"> ・栗東ブランド認証の募集開始

IV. 課題

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東ブランド認証制度による地域資源の活用やシティセールスを打ち出すために、栗東ならではの制度設計を通じた認証主体の形成方策や、商品開発・販路拡大に向けた方策など、具体的な戦略を立案していく必要がある。
-----	---

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	シティセールス戦略等による積極的な情報発信 シティセールスに向けた戦略策定と運用 (マスコットキャラクター活用による本市PR事業)
-------	---

II. 事業概要

目的	対 象	栗東ブランドや特名産品等を扱う事業者	対象数	
	事業手法	商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進 地域に根づいた企業の育成、支援 (地域内での経済循環の創造)		
	目指す姿	・シティセールスを戦略的に行うとともに、これに合わせて栗東ブランドや特名産品等を全国的に売り出していくもの。 ・本市マスコットキャラクターくりちゃんの活用充実に努め、行政内のイベントに留まらず広く市内外へのメッセンジャー的な役割を果たす活用を行うことで、全国的な栗東市の知名度向上を目指す。		
	根 拠			
補助・単独の別	国費・県費・ <u>単独費</u> ・その他 ()			
事業費(千円)	【事業コード】 0724 観光物産協会補助 【予算額】 2,192 千円			
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助・助成・その他 ()	

III. 具体的方策

手 法	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信については、シティセールス戦略に合わせて栗東ブランド等の特名産品を全国に売り出すことを通じて、栗東市の魅力向上による商工業の活性化を目指すもの。(コア会議等で具体の協議予定) ・くりちゃんの活用については、各地で実施される「ゆるキャライベント」や県外での誘客キャンペーン等への積極的な参加 ・くりちゃん関連グッズ作成とPR活動での配布等
スケジュール	【情報発信】 (平成28年度) コア会議(関係課会議)を通じて内部調整を図りながら進める予定。 【くりちゃん】 (平成28年度) 上半期 くりちゃん関連グッズ作成 (観光物産協会の補助事業で実施予定) 5/15 栗東ステークス 下半期 PR活動での配布等 秋季(調整中) ゆるキャライベント等への積極的な参加

IV. 課題

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆるキャライベントや県外での誘客キャンペーンなど、PR活動のノウハウを他市やコンサルから学び、効率的な情報発信を行うことが必要。
-----	---

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	栗東駅周辺まちづくり事業
-------	--------------

II. 事業概要

目的	対 象	市民、栗東駅周辺の商工事業者等	対象数	
	事業手法	商工振興ビジョンロードマップに沿った事業推進 地域に根づいた企業の育成、支援（地域内での経済循環の創造）		
	目指す姿	「栗東駅周辺まちづくり基本方針」（H26 年度策定）に基づく、栗東駅前のにぎわい創出の実現に向け取り組むもの。		
	根 拠			
補助・単独の別	国費・県費・単独費・その他（ ）			
事業費(千円)	【事業コード】 【予算額】 ※※※			
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助・助成・その他（ ）	

III. 具体的方策

手 法	<p>担当課の事業推進に合わせて商工振興ビジョンロードマップの具現化を目指す。</p> <p>【商工振興ビジョンロードマップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○栗東駅周辺まちづくり基本方針に基づく施策の実施 ○栗東駅周辺まちづくりにかかる地域住民・事業者による協議会の設立 ○栗東駅前広場の有効活用に向けたリノベーション ○栗東駅前広場での夜市や屋台村などのイベント開催 ○市民が気軽に利用できる多目的スペースの設置 ○栗東駅前夏祭りの継続 <p>【事業内容】</p> <p>栗東駅東口公共用地の有効活用に向け、周辺住民等との協働によるまちづくりを基本姿勢に、にぎわい創出に向け商工振興に関連する空きテナント対策や用地の有効活用に向けたソフト施策を展開するもの。</p>
スケジュール	<p>■平成 28 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗東駅周辺まちづくりに関しては担当課による関係課会議を通じて事業実施を目指す。 ・商工観光課としては、空きテナントの実態調査を実施する予定（別紙、NO. 28-19）

IV. 課題

課 題	
-----	--

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	栗東観光案内所の運営体制の拡充
-------	-----------------

II. 事業概要

目的	対 象	観光客、栗東市観光物産協会	対象数	
	事業手法	商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進		
	目指す姿	栗東市と栗東市観光物産協会が共同で運営している栗東観光案内所について、観光物産協会の事務局体制を確立することで案内所の運営体制並びに観光案内機能等を強化し、観光客へのもてなしを充実させることで更なる誘客増を目指す。		
	根 拠			
補助・単独の別		国費・県費・ 単独費 ・その他（ ）		
事業費(千円)		【事業コード】 0723 観光振興事業 【予算額】 6,164 千円		
事業期間		平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助・助成・その他（ ）

III. 具体的方策

手 法	栗東観光案内所事業を観光物産協会に委託し、観光物産協会が中心となった栗東観光案内所の運営を行う。
スケジュール	<p>■平成28年度</p> <p>4月実施 (従前) (変更後)</p> <p>【変更内容】○栗東観光案内所職員数 市職員4名、協会1～2名 → 市職員1名、協会4名</p> <p>○観光振興係・馬事業推進係業務が本庁舎へ移動</p>

IV. 課題

課 題	<p>■開所時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日は午前中のみ開所時間となっているが利便性向上に向けた休日の開所時間について検討を要する。 <p>■販売物品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内所利用者の利便性向上に向け、日用品や軽食などの物販の可能性を検討する必要がある。
-----	---

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	空きテナントの現況調査
-------	-------------

II. 事業概要

目的	対 象	市内の事業用テナント全般	対象数	
	事業手法	商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進 地域に根づいた企業の育成、支援（地域内での経済循環の創造）		
	目指す姿	栗東駅前地区、手原・安養寺地区の空きテナントの現況を調査し、空きテナントカルテを作成し、空きテナント対策にかかる施策の基礎資料とするもの。		
	根 拠			
補助・単独の別		国費・県費・ 単独費 ・その他（ ）		
事業費(千円)		【事業コード】 0707 中小企業振興事業 【予算額】 2,400 千円		
事業期間		平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・ 一部委託 ・全部委託・補助、助成・その他（ ）

III. 具体的方策

手 法	栗東駅前、手原・安養寺地区、主要幹線道路等を基本として、市内の空き店舗（テナント）を対象として、実態調査を行う。また、不動産事業者等とのヒアリングを通じて、現状と課題を調査し、空きテナント対策の基礎資料を作成するもの。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年度 7月 委託事業として業務発注予定 ■関連事業 ・住宅課が所管する空家等対策連絡会議（プロジェクト会議）が平成28年5月に設置予定

IV. 課題

課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度に実施する空きテナント現況調査により、市総合戦略の現状値を把握することになるが、今後の空きテナント対策を通じて、空きテナント数の減少を図る必要がある。 ・このため、空きテナント対策の具体的な施策構築に向けた協議・検討が必要。
-----	---

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	既存のまつり等のイベントの検証と見直し
-------	---------------------

II. 事業概要

目的	対象	各種まつり、イベント等の主催者	対象数	
	事業手法	商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進		
	目指す姿	分野別や地域別において、様々なまつりやイベントが開催されているなかで、イベントの開催日程や担い手の課題等もあり、相互連携等を進めるなかで、各種イベント等の最適化を図るもの。		
	根拠			
補助・単独の別	国費・県費・ 単独費 ・その他 ()			
事業費(千円)	【事業コード】 0723 観光振興事業 【予算額】 100 千円			
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助・助成・その他 ()	

III. 具体的方策

手 法	<ul style="list-style-type: none"> 市内各所で実施されているまつり、イベント等の目的や抱えている課題等を情報共有することで、まつり等の目的が経済効果を目指すのか、あるいは住民交流を目的とするのか等を再構築し、相互協力、連携関係を築き、効率的で効果的なまつり等のあり方を検証し、見直しを検討するもの。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ■平成28年度 <ul style="list-style-type: none"> 4月～10月 栗東まつり実行委員会の開催 10月頃～ 栗東まつり企画委員会の開催 12月 平成29年度予算要求までに新しいまつりの枠組みを検討

IV. 課題

課 題	<ul style="list-style-type: none"> これまでのまつりを評価・検証し、まつり開催の目的を再確認するなかで、安全、かつ、意義のあるまつりの開催に向け、検討を進める必要がある。 なお、過去の検討委員会での議論等も参考として協議・検討することが必要。
-----	--

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	地域資源活用ビジョンの策定と効果的な運用 あるもの探しの実施
-------	-----------------------------------

II. 事業概要

目的	対象	市民、観光客	対象数	
	事業手法	商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進		
	目指す姿	栗東ブランドの創造との観点から、既に存在しながら気付かれてこなかった魅力的な資源や新たな地域資源の「あるもの探し」を行い、これらを市民と共有することで、観光のまちづくりを推進し、本市への更なる誘客増を目指す。		
	根拠			
補助・単独の別		国費・県費・単独費・その他 ()		
事業費(千円)		【事業コード】 【予算額】 ※※※		
事業期間		平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助・助成・その他 ()

III. 具体的方策

手法	・全庁的に推進される栗東市シティセールス戦略や地域資源活用ビジョン実施計画に基づく事業推進に合わせ、観光振興の視点で地域資源の活用策を検討する。
スケジュール	・コア会議で具体的な協議・検討を進める (予定)

IV. 課題

課題	・既に存在しながら気付かれてこなかったの物を探すためには、地域を良く知る地元住民と、新たな視点を持つ地域外の人との協力が不可欠であり、共に行動できる環境を作り、地域資源の活用を検討する必要がある。
----	--

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	湖南 4 市の広域観光の効率化に向けた連携拡充
-------	-------------------------

II. 事業概要

目的	対 象	草津市、守山市、野洲市、栗東市、観光客	対象数	
	事業手法	商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進		
	目指す姿	観光振興について湖南 4 市の広域で連携を深め効率的に取り組むことによって、本地域の更なる魅力発信を行い、もって本市並びに湖南地域への来訪者の増加を目的とする。		
	根 拠			
補助・単独の別		国費・県費・ <u>単独費</u> ・その他 ()		
事業費(千円)		【事業コード】 0723 観光振興事業 【予算額】 434 千円		
事業期間		平成 27 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助・助成・その他()

III. 具体的方策

手 法	従来の湖南地域観光振興協議会での取り組み（県外での誘客キャンペーン、PR ツアー記者招聘事業等）に加え、新たに湖南 4 市がタイアップした観光事業（イベント）の検討実施や、今後の協議会組織のあり方について検討を行う。
スケジュール	■平成 28 年度 6 月上旬に事業計画決定予定

IV. 課題

課 題	・湖南4市の広域で連携を深め効率的に行動を起こすため、より密接な情報共有を行える環境づくりが必要。
-----	---

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	観光客向けのマップやパンフレットの拡充
-------	---------------------

II. 事業概要

目的	対象	観光客、訪日外国人旅行者	対象数	
	事業手法	商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進		
	目指す姿	観光客向けのパンフレット等について、より本市の魅力を伝えることのできる内容とすべく改訂等を検討する。特に今後増加が見込まれる訪日外国人旅行者に対しては、外国語表記の観光パンフレットを作成するなどインバウンド観光に向けた対応を図る。		
	根拠			
補助・単独の別	国費・県費・ <u>単独費</u> ・その他（ ）			
事業費(千円)	【事業コード】 【予算額】 ※※※			
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助・助成・その他（ ）	

III. 具体的方策

手 法	・従来から配布している観光パンフレット、マップ等について新たに外国語版（英語・中国語）を作成する。
スケジュール	■平成28年度 インバウンド観光に関する現況把握に努めるとともに、外国語表記の観光パンフレット作成に向けた準備作業を行う。

IV. 課題

課 題	・インバウンド観光に必要な情報として言語の問題だけでなくクレジットカード決済や、Wi-Fi等のインターネット接続環境など、情報更新の早さに対応できるパンフレットの作成を検討する必要がある。
-----	--

平成 28 年 6 月 3 日

I. 事業名

事務事業名	グリーンツーリズムの実施に向けた実態調査
-------	----------------------

II. 事業概要

目的	対象	市民、観光客	対象数	
	事業手法	商工振興ビジョン・ロードマップに沿った事業推進		
	目指す姿	耕作放棄地や休耕田を有効活用し、都市住民の農業体験の近郊型レジャーとしての魅力創出を目指す。		
	根拠			
補助・単独の別	国費・県費・ <u>単独費</u> ・その他（ ）			
事業費(千円)	【事業コード】 【予算額】 ※※※			
事業期間	平成 28 年 4 月～ 平成 32 年 3 月	事業実施形態	直営・一部委託・全部委託・補助・助成・その他（ ）	

III. 具体的方策

手法	・グリーンツーリズムの活用意向調査や市民のニーズ調査、並びに先進地や近隣市等の状況を把握し、本市におけるグリーンツーリズムの実現に向けた実態を調査する。
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ■平成 28 年度 <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地や休耕田におけるグリーンツーリズムの活用状況等について、実態把握に努めるとともに、効果的な調査手法について担当課と協議・調整を行う。 ■平成 29 年度 <ul style="list-style-type: none"> ・実態調査の実施（予定）

IV. 課題

課題	・グリーンツーリズムの実現に向けて、体験や滞在の受け入れ態勢を整備する上で、細くとも長い支援が必要になるため、調査結果を元に長期的な計画を協議・検討することが必要。
----	--